

ルールを守る

犬を飼うためには、その飼う所在地のエリアや地域の自治体によって定められたルールを守らなければなりません。ここでは、パース市 (City of Perth) を例に挙げ、犬を飼う際に守らなければならないルールや規定、法律について紹介します。

※各項目では、【全豪】または【州 (ここでは西豪州)】、そして【市 (ここではパース市)】単位で定められていることもあります。
パース市の場合、詳しい情報は City of Perth のウェブサイトの「Animals and Pets」を参照してください。

※エリアや地域によってルールが異なります。必ず、飼う犬の所在地 (飼育する場所) から公布されるルールを確認しましょう。

情報提供・参照元 : City of Perth

【州&市】

犬の登録 犬を飼う際は、飼い主が義務として行わなければならないことがあります。

マイクロチップの装着

個体識別番号が組み込まれているマイクロチップの装着が義務付けられています。獣医で装着してもらったマイクロチップには番号が宛がわれております。専用の機械でマイクロチップを読み取るとその番号が検出され、飼い主や犬の詳細情報を把握、確認することができます。

犬の登録

マイクロチップの番号と犬や飼い主の詳細情報を所在地 (飼育する場所) の自治体に登録しておかなければなりません。パース市の場合は、オンラインでも登録できますが、規約などに同意して登録を完了すると、登録タグをもらうことができます。

パース市が定めるドッグパーク

犬をリードなしでのびのびと遊ばせることができる、パース市が定める公園です。
しかし、リードは所持していなくてはいけないので注意が必要です (P11 の「責任とは」参照)。



パース市の東側に位置する公園で、パース市街地や住居に隣接する。公園内に City of Perth が提供している排泄物を取り除くための袋が設置されている。



ウェリントンスクエア 【Wellington Square】

住所 : Wellington St, East Perth and bounded by Bennett, Wittenoom, and Hill Sts.



公園の周りにはたくさんの木々が取り囲み、市街地に隣接する公園とは思えないほど自然豊か。パースの西側に位置し、犬に目を行き届かせることができる大きさ。



トッターデルパーク 【Totterdell Park】

住所 : Arthur St, West Perth and bounded by Thomas and Colin Sts.



※全ての犬の所有者は、犬の排泄物を取り除かななくてはなりません。

【全豪】

法律

1976 年に制定された法律では、犬の所有者はペット（犬）の行動に対して責任を負わなければならないと謳ってます。

▶責任とは？

各家庭に 2 匹

パース市内の住宅エリアでは所有してもよいとされている犬は 2 匹まで。

※ City of Perth の場合となります。
自治体によって異なるので要注意です。

登録タグの首輪

犬が登録されていることを証明する登録タグを首輪に着用。

飼育する場所を特定

犬が登録された所在地（飼われる犬の場所）は、犬の所有者の敷地内として限定する。

リードは最大 2m まで

公共の場所では最大 2m までのリードで犬を制御。

リードの所持

指定された場所では犬からリードを外してもよいが、リードは常時所持。

※指定された地域は P10 を参照
(City of Perth に限る)

登録は 1 人のみ

犬の登録は
18 歳以上の 1 人に限る。

【市】

推奨

事故に繋がらないよう注意喚起をしています。

- 🐾 どんな状況でも、子どもが犬をコントロールできると確信していない限り、子どもを犬と一緒に歩かせるのは避けましょう。
- 🐾 自転車に乗りながら犬と一緒に走るのは、危険なのでやめましょう。

【市】

罰金内容

犬を飼う際に定められた法律に反した人には罰金が科せられます。

以下の罰金内容は一部となり、コンディションにより科せられる金額も異なってきます。

- 🐾 犬の登録がなされていなかった場合
- 🐾 マイクロチップが故障していた場合
- 🐾 公共の場で犬にリードをつけていなかった場合
- 🐾 犬が攻撃や怪我を引き起こした場合
- 🐾 公共の場所や土地の所有者のいる場所で、許可なく排泄させた場合 など

※危険な犬とみなされた場合、罰金は 2 倍になり、最大で \$10,000 が科せられます。